

東京国際空港（羽田空港）の新しい滑走路（D滑走路） 連絡誘導路部ジャケット据え付け開始

トピックス

東京国際空港（羽田空港）の4本目の滑走路（D滑走路）建設工事では、平成20年3月25日に連絡誘導路部ジャケット第1号基の据え付け作業が無事完了し、D滑走路本体と現空港を結ぶ連絡誘導路橋が初めて海面に姿を現しました。

連絡誘導路部は延長620mで、栈橋部と橋梁部からなります。幅は、連絡誘導路（幅63m）及び場周道路（幅10.8m）がそれぞれ南北に2本あります。

連絡誘導路のジャケット1基は、W63m×L30m×H11～23m、最大重量約1,300tです。また、レグ（脚部）の本数は、1基あたり21～28本と栈橋部のジャケット（標準タイプ6本）より多くなっているのが特徴です。

連絡誘導路部では、40基のジャケットを据え付ける予定で、月2基のペースで、平成21年度前半まで続く予定です。

注）誘導路は航空機の通路、場周道路は消防車などの大型車両の通路

平成20年4月1日

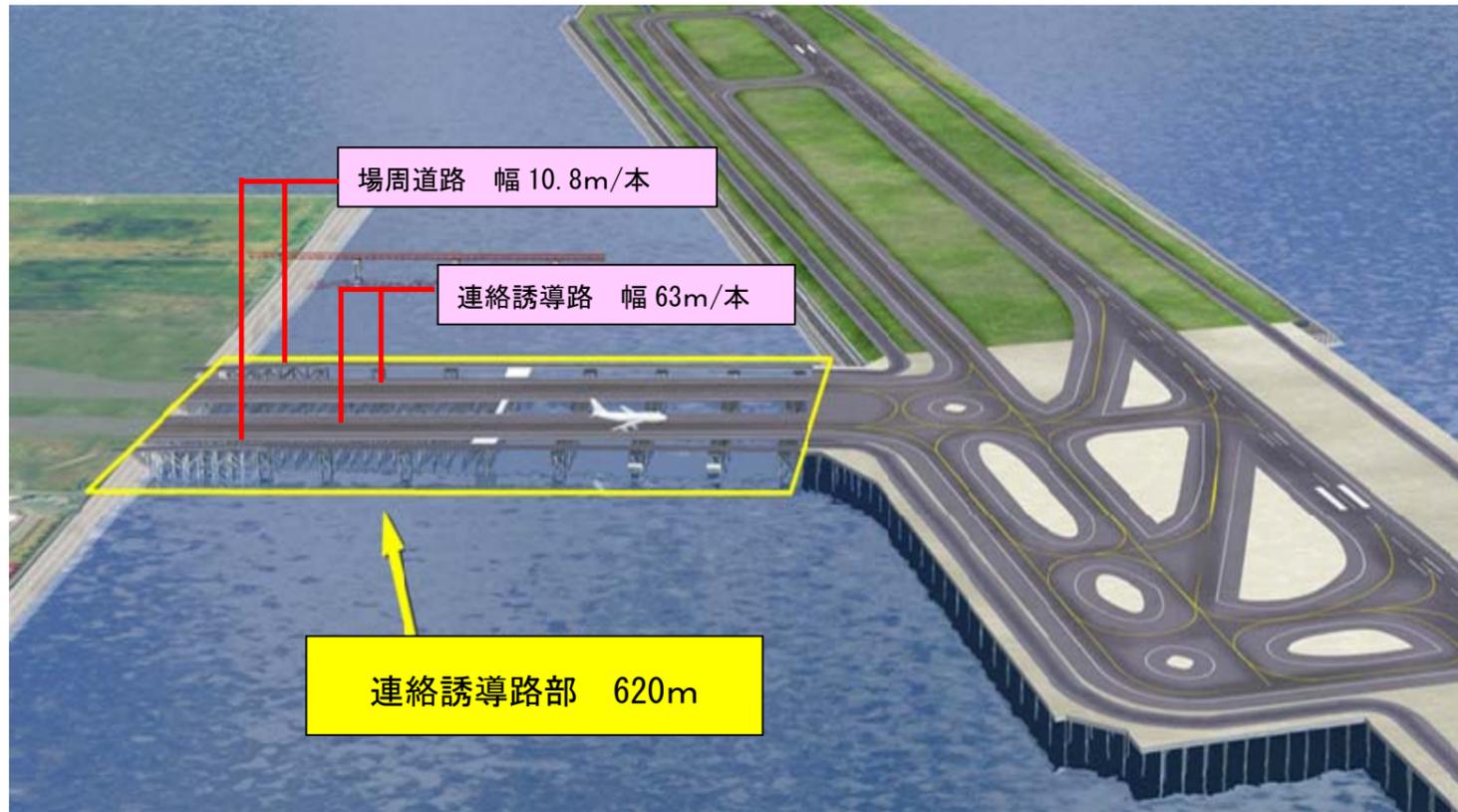
国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 東京空港整備事務所 D滑走路プロジェクト推進室 北川・浦野
住所 東京都大田区羽田空港3-5-7メンテナンスセンターアネックス5階
電話 03-5756-6580
HP <http://www.pa.ktr.mlit.go.jp/haneda/>

■ 連絡誘導路ジャケッ依据付工

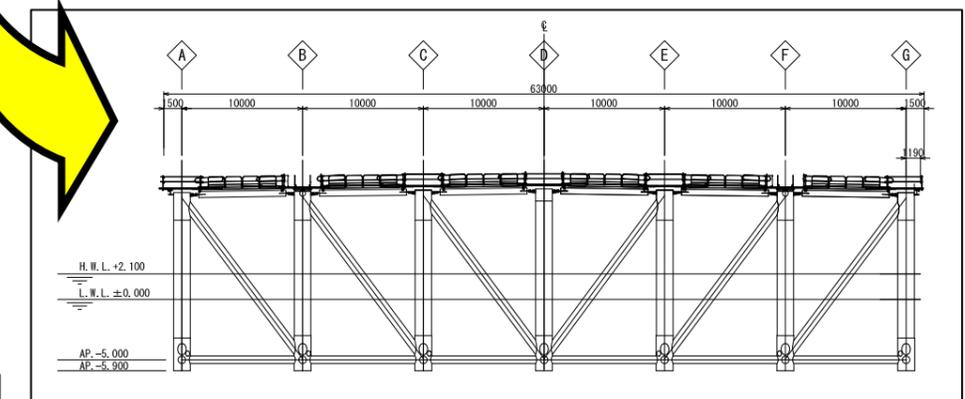
位置図



ジャケッ構造イメージ図



ジャケッ側面図 (L8JKT)



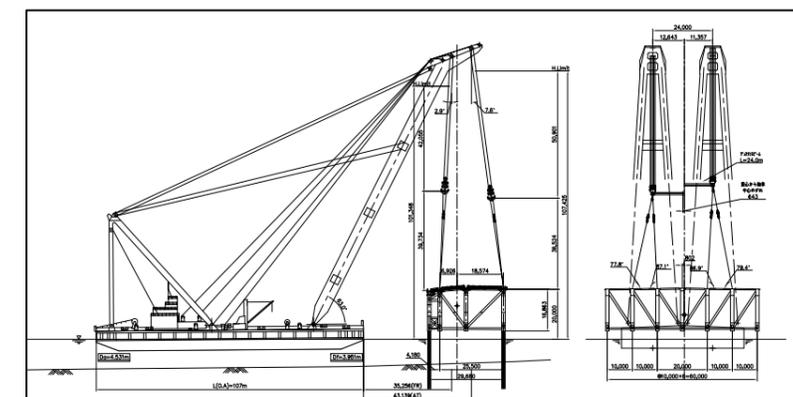
3,700t 吊起重機船 (武蔵)



ジャケッ全景 (L8JKT : 約 1,300t)



ジャケッ吊上げ状況



■ 連絡誘導路ジャケット据付工（施工状況）

施工状況

